

2014-15 年度 グローバル補助金奨学生 報告

イギリス バーミンガム大学大学院 新口慎太郎 三原 RC 推薦

大学院での授業も5週目を迎えました。先日サマータイムが終了し、日の長さも日に日に短くなっておりイギリスでの初めての冬が近づいてきているのを感じております。

9月26日から28日にイギリスのウェールズのカーディフというところに2014/15年度の奨学生としてイギリス及びアイルランドに留学している学生の交流イベントに参加してきました。来ていたのは奨学生の一部だけでしたが多くの留学生がアメリカか日本からの奨学生でした。3日間の行程の中では、まず奨学生として1年間どのように過ごしていけばよいか、ホストクラブなどとはどのように関わっていけばよいのかなどについてのガイダンスが行われました。奨学生同士でも情報を交換することもできました。またゲストスピーカーを迎えて講演を聴かせていただいたり、現地のロータリアンの方々とお食事などもさせていただきました。最終日にはカーディフ城の見学にも行かせていただきました。

大学院の授業は週に3つの授業があります。1学期目にあたる秋学期は国際関係論の理論やそれを用いたケーススタディ、発展途上国や紛争経験国に存在する問題などを分析しそれらに対してどのようなアプローチをしていけばよいかなどを勉強しています。毎週それぞれの授業で論文などの読書課題が出されます。授業では読んできた文献や論文をもとにディスカッションをします。同じクラス内には私のように学部を卒業してそのまま大学院に進学した学生もいれば、学部卒業後にアフリカや東南アジアの途上国で1年間インターンシップをして大学院に入ったという学生、国連や省庁で働いていた経験のある人など、様々なバックグラウンドを持った人がいて、それぞれの経験に基づいた意見などが聞けるので色々な視点から一つのトピックを見ることができます。また教授との関係も日本とは大きく違います。年齢に関係なく授業内では対等に意見を交わすことができます。

1060 地区の奨学金担当のポールさんの紹介で Rotary Club of Birmingham Breakfast というバーミンガムのロータリークラブのクリスさんとお会いしました。またクリスさんの紹介でそのロータリークラブのローターアクトクラブの活動に参加させていただいています。来月は地区の大きな会議があり、それに招待していただいたのでまた後日報告させていただきます。

添付させていただいた写真はカーディフでの奨学生たちとの交流イベントで撮っていただいた写真です。

